

2021
WINTER



もくほん!

寒さも深まってきた今日この頃、みなさんお元気でお過ごしてでしょうか？

寒い日はなかなか外に出る気にもなれませんよね。
部屋にいて、勉強もしたし、さてなにをしよう？なんてこと、ありませんか？
そういう時は、ものづくりにチャレンジしてみてもいいでしょうか？

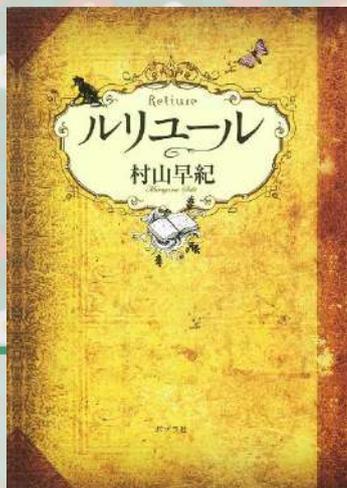
冬にぴったりの編み物やお裁縫、ミニチュアフードやアクセサリを作るのもいいですし、ものづくりについての本や小説を読むのも楽しいですよ。また、作ったものを公開したりまとめて写真集にしたり、記録として残すのも楽しいものです。

というわけで、今回は『ものづくり』特集!

それでは、『もくほん!2021 WINTER』はじまります!



『ものづくり』×小説



913.6
ムラヤ

『ルリユール』
村山 早紀／著
ポプラ社

風早の街でひと夏を過ごすことになった少女・瑠璃は、夢に導かれて訪れた洋館でクラウディアという謎めいた女性と出会う。彼女は本の修復や造本をするルリユール(製本)職人、どんなに傷んだ本でも元通りにできるという。

魔法のような手技を持つ製本職人と弟子の少女がくりひろげる、本を愛するひとの美しく不思議な物語。

913.6
イケイ

『下町ロケット [1]』
池井戸 潤／著 小学館

「お前には夢があるのか？
オレにはある」

研究者の道をあきらめ、家業の町工場・佃製作所を継いだ佃航平は、製品開発で業績を伸ばしていた。そんなある日、

商売敵の大手メーカーから理不尽な特許侵害で訴えられる。圧倒的な形勢不利の中で取引先を失い、資金繰りに窮する佃製作所。創業以来のピンチに、国産ロケットを開発する巨大企業・帝国重工が、佃製作所が有するある部品の特許技術に食指を伸ばしてきた。

特許を売れば窮地を脱することができる。だが、その技術には、佃の夢が詰まっていた――。

男たちの矜持が激突する感動のエンターテインメント長編!

